
俺は前世の記憶を持ったまま転生したが故に不幸だった。

宮古奈都

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

俺は前世の記憶を持ったまま転生したが故に不幸だった。

【Nコード】

N7451X

【作者名】

宮古奈都

【あらすじ】

俺は池上いけがみ 隼人はやと享年19歳。

俺はゲイだ。

夏コミの同人雑誌を買いに行く途中で死んだ。

俺の大好きなBLマンガ本を買いたかった。

俺は前世の記憶があるまま異世界に転生した。

今回の性別もまたしてもオス。

女の子には生まれ変わることが出来なかった。

しかも、母親は魔王で俺は次期魔王候補になるらしい。

俺は前世の記憶を残しまま転生した故に不幸だ。

神よ、俺は嘆く。

何故、俺の大好きBLマンガ本がない世界に生まれてきたんだあああああああ！

不定期更新の連載です。

プロローグ

俺は池上^{いけがみ} 隼人^{はやと}享年19歳。

女の子が車にひかれそうな所を助けて交通事故で死んだ。

俺はゲイだ。

夏コミの同人雑誌を買いに行く途中で死んだ。

俺の大好きなBLマンガ本を買いたかった。

特にジュリエット・シャーロックの同人雑誌が好きでよく愛読している。

だが、死んでしまった。

もう、読むことが出来ない…。

俺は前世の記憶があるまま異世界に転生した。

今回の性別もまたしてもオス。

女の子には生まれ変わることが出来なかった。

どうやら、俺にはコウモリのような羽がはえている。

人間ではない魔族のようだ。

しかも、母親はドラゴンで父上が人間で俺はハーフだ。

しかも、母親は魔王らしい。

俺は次期魔王候補になるらしい。

俺は前世の記憶を残しまま転生した故に不幸だ。

神よ、俺は嘆く。

何故、俺の大好きBLマンガ本がない世界に生まれてきたんだああ
あああああ！

第一話 両親

最初に話して置かなければならないのが、

まず、俺の両親の馴れ初めである。

親父は登山家である。

お袋は『水晶の山』と呼ばれる山に住む魔族の龍であり魔王だ。
ドラゴン

親父はお袋の住む山を登山中に怪我をして、助けたのがお袋だった。

ちなみにお袋は人型にもなれる。

それがきっかけで二人は知り合い。俺が生まれた訳だが…、

話はそう簡単にはイカナイ。

お袋はすでに子供が一人いたのだった。

名はクリスタルという白くて、綺麗な肌のとまどき脱皮する9歳年上の姉が俺にはいた。

第二話 姉

俺の姉上の名はクリスタル。

姉貴と呼びたい所だが姉上だ。

何しろ姉上は白く洗礼された大蛇なのだ。

神秘的で神々しい正に神の御使いに相応しい容貌をしているのだ。

この水晶の山で姉上を見た人間達は怖がり恐るがちよっと勘違いしている。

蛇神様だと……。

いい意味で姉上は人間に興味がないので、まさか魔族の姉上が人間

達から神様だと勝手に崇められているなどは夢にも思っていないか
っただろう。

俺がこっそり教えるまでは。

「妾は神なぞではない魔族である！」

これが俺の姉の口癖だった。

第三話 誕生

俺が生まれる前のことだった。

親父はお袋に惚れた。

親父はこの大陸では珍しい黒髪に紫色の瞳に整った顔をしていたが、お袋にとって人間の醜美などよく判らないが親父ことを気に入っていた。

姉上は最初から人間に無関心。

怪我が治っても山を下山しない親父。

いつか季節が秋から冬になり姉上が冬眠中に俺を宿した卵をひとつお袋は産んだ。

春になり俺は卵の殻を蹴り飛ば……

せずに卵の中からおんぎゃあ、おんぎゃあ泣いてお袋が卵を割ってくれた。

俺が生まれた時だった。

人間の姿に背にコウモリのような黒い翼をつけてた人間と魔王のから生まれた雄の赤ん坊が俺だった。

第四話 前世の…

俺がジュリエット・シャーロックの同人誌を見たのは忘れもしない
去年の夏。

あれは衝撃的だった。

ひと昔前に流行ったミニ四駆のBL本だった。

まさかである。

特製のオイルを誤って飲んでしまった少年の主人公が小さくなり、
ミニ四駆と意思疎通が出来るようになり少年が…、

そのミニ四駆に乗ってコースを走った！

そこで芽生える友情を越える禁断の恋！？

ミニ四駆はターミターのように変形して主人公の少年とピ
をしたのである。

ピ をピ して×××××!!

ウギャッー！ー！？

である。

あり得、ない。

が、心理学のつり橋効果で読者の心を上手く掴み完成度の高い出来をしていた。

俺はそれ以来、ジュリエット・シャーロックの読者になって、作者の運営しているホームページで今まで販売していた同人誌を購入したりした。

それが俺がジュリエット・シャーロックのマンガ本との出会いだっ
た。

第五話 名付け親

俺が生まれてから一、二歳の記憶は断片的であまりない。

覚えていた方が恥ずかしいだろう…。

そんな俺は健やかに育ち三歳になった。

「お母さん、どうしてボクには羽根が生えてるの」

(幼いながらに可愛らしい質問をしたな)

と、思う俺。

《それは、マロンがお空をとぶためにあるのよ》

お袋が俺に言っつて、俺は小さな羽根をバサバサ動かしてみたが、まだ飛べる気配はなかった。

ちなみに俺の現在の名前は『マロン』である。

…は、恥ずかしい。

男なのに、こんな名前を付けてくれたのは他ならぬ、お袋だった…。

代々、魔族が名前を付けるのは母親か父親という決まりがあり、それ以外は魔族として認められない掟おきてがあった。

俺の父親は人間だから母親がつけたのだが、もっと男らしい名前が良かったぜ…。

たぶん、姉上の名前はお袋がつけたのではなく、父親の方がつけたのに間違いないだろうと俺は思った。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7451x/>

俺は前世の記憶を持ったまま転生したが故に不幸だった。

2011年12月11日22時51分発行